

# むらづくり

## 最小の経費で最大の効果を...

平成19年度のむらづくりがスタートしました。村では厳しい財政状況の中、「最小の経費で最大の効果」を念頭において、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は、一般会計が25億8千700万円、特別会計が16億5千868万円、総額42億4千568万円の予算となりました。

昨年12月の議会で条例改正し、従来の特例措置ではなく本則を改正した特別職給料の減額（村長30%、助役（4月より副村長）・教育長20%）や議員報酬の減額（25%）をはじめ、職員給与の特別勤務手当全額カット、管理職手当20%カット、通勤手当（16キロメートル上限）50%カット、住居手当の持家全額カット（借家は50%カット）などによる人件費削減のほか、事務事業の見直しを一層進め、経費削減に努めていながら、少ない財源を有効に活用し、元気の出るむらづくりを進めていきます。



### 一般会計

#### 【歳入】 地方交付税が全体の5割超に

歳入（収入）のトップは、地方交付税（全国の自治体が一定の水準で事業が行えるように国から配分されるお金）の13億1千397万9千円で、

歳入全体の50・8%を占めています。地方交付税の補てん措置の臨時財政対策債を含めると前年度と比べると2千140万7千円（1・5%）の減額となり、自主財源（村が自分の手で確保できるお金）が乏しい本村にとつて厳しい予算編成になりました。

自主財源では、村税が2億7千358万7千円で、前年度と比べ2千787万8千円（11・3%）の増額と

なりました。これは、国から地方への税源移譲に伴う税制改正により、村民税の個人の所得割が大幅に伸びたことによりですが、一方では、地方譲与税が3千100万円（40・2%）減少しています。

#### 【歳出】 農林水産業費が増加

千414万2千円（26・4%）の減額となったのは、村道寅卯平富田線改良事業が前年度までで完了したためです。

### 特別会計

#### 全体で4%の伸び

一方、性質別では、人件費が7億459万5千円（27・2%）と最も大きくなっていますが、前年度と比べて3千468万9千円（4・7%）の減額となっています。次いで公債費の4億622万1千円（15・7%）、補助費等の3億7千451万円（14・5%）、普通建設事業費の3億2千443万7千円（12・5%）の順に続

ています。

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、独立して設けた会計をいいます。平成19年度は、国民健康保険（事業勘定・直診勘定）、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センターの8つの会計で運営します。

これら特別会計予算の総額は16億5千868万円となり、前年度に比

べ6千372万7千円（4・0%）の増額となりました。

このうち、国民健康保険特別会計（事業勘定）が、前年度と比べ5千900万円（14・0%）の増額となったのは、国保の制度改正に伴い、保健財政共同安定化事業が新たに出てきたことによりです。

また、交流施設特別会計が1千17万7千円（30・2%）の減額となったのは、「ほっとはうす・さめがわ」本館の施設建築事業に係る借入金（起債）の償還が完了したことにより

### 会計予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	25億8,700万円	△6,900万円	△2.6
特別会計	16億5,868万円	6,372万7千円	4.0
国民健康保険	事業勘定 4億8,100万円	5,900万円	14.0
	直診勘定 8,500万円	140万円	1.7
老人保健	5億2,111万2千円	△414万4千円	△0.8
簡易水道事業	7,150万円	550万円	8.3
村営バス事業	688万7千円	210万3千円	44.0
集落排水事業	3,335万円	△104万6千円	△3.0
介護保険	2億9,630万1千円	1,410万1千円	5.0
交流施設	2,350万円	△1,017万7千円	△30.2
学校給食センター	1億4,003万円	△301万円	△2.1
予算総額	42億4,568万円	△527万3千円	△0.1

### 一般会計歳入予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	5億591万1千円	19.6	1,377万円	2.8
村税	2億7,358万7千円	10.6	2,787万8千円	11.3
繰入金	1億5,436万2千円	6.0	△1,662万6千円	△9.7
使用料及び手数料	2,963万2千円	1.1	△502万9千円	△14.5
繰越金	2,000万円	0.8	0円	0.0
その他①	2,833万円	1.1	754万7千円	36.3
依存財源	20億8,108万9千円	80.4	△8,277万円	△3.8
地方交付税	13億1,397万9千円	50.8	△804万7千円	△0.6
村債	2億5,380万円	9.8	△4,220万円	△14.3
県支出金	2億6,915万6千円	10.4	6,862万2千円	34.2
国庫支出金	1億4,694万4千円	5.7	△6,110万5千円	△29.4
その他②	9,721万円	3.7	△4,004万円	△29.2
計	25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他①=分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入/その他②=地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

### 一般会計目的別歳出予算の状況

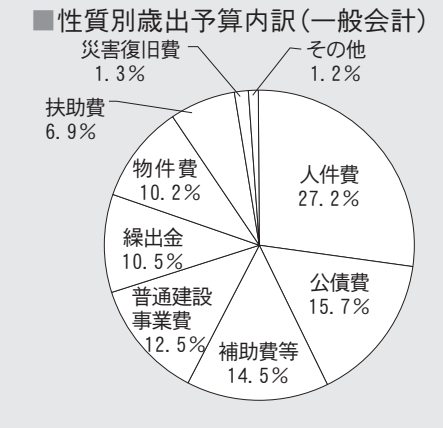
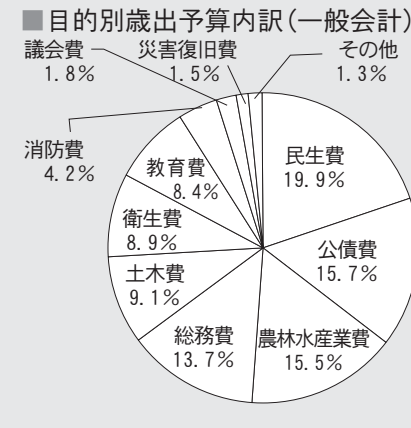
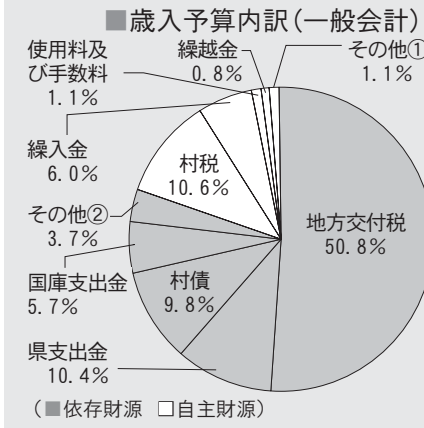
区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億1,562万7千円	19.9	1,079万6千円	2.1
公債費	4億622万1千円	15.7	81万7千円	0.2
農林水産業費	4億42万9千円	15.5	5,274万円	15.2
総務費	3億5,424万1千円	13.7	△505万7千円	△1.4
土木費	2億3,479万1千円	9.1	△8,414万2千円	△26.4
衛生費	2億2,982万2千円	8.9	△2,345万2千円	△9.3
教育費	2億1,763万2千円	8.4	△2,350万7千円	△9.7
消防費	1億861万2千円	4.2	△577万4千円	△5.0
議会費	4,661万円	1.8	△588万6千円	△11.2
災害復旧費	3,831万8千円	1.5	1,966万9千円	105.5
その他	3,469万7千円	1.3	△520万4千円	△13.0
計	25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他=商工費、労働費、予備費

### 一般会計性質別歳出予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	7億459万5千円	27.2	△3,468万9千円	△4.7
公債費	4億622万1千円	15.7	81万7千円	0.2
補助費等	3億7,451万円	14.5	△545万円	△1.4
普通建設事業費	3億2,443万7千円	12.5	△1,352万円	△4.0
繰出金	2億7,296万3千円	10.5	△2,514万5千円	△8.4
物件費	2億6,266万4千円	10.2	△2,714万6千円	△9.4
扶助費	1億7,696万8千円	6.9	1,833万2千円	11.6
災害復旧費	3,194万6千円	1.3	1,991万9千円	165.6
その他	3,269万6千円	1.2	△211万8千円	△6.1
計	25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他=維持補修費、貸付金、積立金、予備費



# 全会計総額 約42億4,568万円

[対前年度比 527万3千円(0.1%)減]



主な事業概要④	
<p>＜農村の人づくりと産業ビジョン＞ 地域から世界を見ることが出来る人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現</p> <p><b>【学校教育の充実】</b> ●鮫川中学校校舎、体育館耐震診断〔新規〕 310万4千円 ●ふるさと後継者育成事業(中学校修学旅行助成) 120万円 ●小学校教育用コンピュータ更新事業 194万1千円</p> <p><b>【健康づくり・自主的スポーツ活動】</b> ●ふくしま駅伝大会参加(練習・強化対策費など) 129万5千円 ●青少年広場トイレ改修事業〔新規〕 400万円</p> <p><b>【安心安全、顔の見える農業の振興】</b> ●中山間地域等直接支払交付金事業 1億2,513万4千円 ●水田作付条件整備事業(暗渠排水) 200万円 ●稔りの農地再生事業(草地更新) 867万円 ●肉用牛生産振興事業(輸送経費助成、ヘルパー助成) 120万円 ●うつくしま良質堆肥生産流通事業〔新規〕 1,287万2千円 ●優良牛整備増殖事業(優良牛購入費補助) 105万円 ●畜産環境保全条件整備事業(堆肥舎など) 592万9千円</p> <p><b>【ふるさとの森を守り育てる】</b> ●森林整備地域活動支援交付金事業(森林の維持・整備) 208万7千円 ●松くい虫防除事業(被害木伐倒駆除) 365万円 ●県単治山施設事業(名下地区)〔新規〕 247万1千円</p> <p><b>【商工業の振興】</b> ●商工業振興事業(商工会補助など) 335万7千円</p> <p><b>【村の特徴を活かした観光の振興】</b> ●観光推進事業(うまいもの祭り補助など) 183万4千円</p> <p><b>【その他】</b> ●地籍調査事業(前ノ沢地区) 4,160万3千円</p>	

主な事業概要③	
<p>＜農村の暮らしビジョン＞ みんなが安心して生活できる村の実現</p> <p><b>【安心生活ができる公共交通づくり】</b> ●生活バス路線運行費 963万2千円 (福島交通バス運行費補助、村営バス繰出金)</p> <p><b>【安心生活を支える情報】</b> ●高度情報化事業(白河広域ネットワーク負担金など) 865万4千円</p> <p><b>【多様な暮らしの工夫】</b> ●公営住宅建設事業(渡瀬団地1棟5戸) 6,371万1千円</p> <p><b>【火災と災害への備え】</b> ●常備消防負担金 7,805万3千円 ●消防施設整備事業(小型動力ポンプ更新ほか) 201万5千円</p> <p><b>【安心生活ができる保健・医療・福祉の充実】</b> ●住民健康診査事業(基本健診、がん検診など) 1,667万1千円 ●予防接種事業(乳幼児予防接種、インフルエンザなど) 336万2千円</p> <p><b>【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】</b> ●高齢者住環境整備事業(高齢者居住棟建築1棟8室)〔新規〕 7,420万円 ●高齢者生活支援事業(緊急通報システム借料、紙おむつ給付) 673万2千円 ●一般高齢者支援事業(筋力づくり教室など) 708万1千円 ●後期高齢者医療制度システム改修費〔新規〕 630万円</p> <p><b>【子育て支援体制づくり】</b> ●子育て支援事業(2歳未満児紙おむつ給付事業)〔新規〕 300万円 ●保育業務 1億2,084万円 ●こどもセンター費(子育て支援事業、施設・バス運行管理費など) 2,404万円 ●乳幼児・妊産婦医療費助成 1,114万4千円 ●幼稚園児教育費 2,380万1千円 ●放課後児童クラブ事業(運営費) 268万8千円</p> <p><b>【障害者の支援体制づくり】</b> ●身体障害者施設訓練費、重度心身障害者医療費など 7,758万1千円 ●障害者施設整備事業(たんぼぼの家施設移転に係る補助)〔新規〕 1,000万円</p> <p><b>【災害復旧事業】</b> ●過年度公共土木施設災害復旧事業(2路線6か所)〔新規〕 3,814万8千円</p>	

主な事業概要②	
<p>＜農村の環境ビジョン＞ 自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現</p> <p><b>【道路網・道路環境の整備】</b> ●林道関口鹿角平線改良舗装事業〔新規〕 5,160万8千円 ●県営農道整備事業負担金 666万7千円 (東白川地方広域農道・東野中部農免農道)</p> <p><b>【水を大切に、環境に配慮した排水の処理】</b> ●合併処理浄化槽整備事業(7人槽20基) 1,200万円</p> <p><b>【その他】</b> ●東白衛生組合・東白斎苑運営費負担金 7,169万9千円</p>	

主な事業概要①	
<p>＜農村の再生ビジョン＞ 独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現</p> <p><b>【環境と健康を食べる】</b> ●農産物加工直売事業(施設管理・運営費補助) 363万円 ●学校給食用炊飯設備整備事業(ガス炊飯器、洗米機ほか)〔新規〕 172万7千円 ●大豆振興対策事業(料理コンクール、大豆種子購入費) 203万3千円 ●エゴマ鶏開発事業 218万1千円 (飼育委託、成分分析、飼育マニュアル作成など)</p> <p><b>【農村の景観と文化を生かす】</b> ●ふるさと緑の協力隊事業(NPOを活用した農作業などの援助) 123万2千円 ●森林環境税交付金事業(館山公園整備、ベレットストープ購入、県産間伐材利用活用事業)〔新規〕 1,310万9千円 ●農村体験館整備事業(旧渡瀬保育所の改修整備)〔新規〕 3,667万4千円 ●定住促進住宅整備事業(空き家住宅改修1棟)〔新規〕 915万1千円</p>	

村民1人当たりに使われるお金は  
590,774円(△1,158円)です。

〔一般会計歳出予算額÷平成19年3月1日現在の人口4,379人で計算。【 】内は対前年比。平成18年度は平成18年3月1日現在の人口4,487人で計算。〕

項目	内容	金額
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	117,750円 [5,420円]
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	92,766円 [2,415円]
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	91,443円 [13,955円]
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	80,895円 [820円]
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	53,617円 [△17,462円]
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	52,483円 [△3,963円]
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	49,699円 [△4,042円]
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	24,803円 [△690円]
議会費	村議会運営のためのお金	10,644円 [△1,056円]
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	7,923円 [△5,126円]

**平成19年度予算編成方針**

人口と面積を基本に算定する「新型交付税」の導入や、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」に沿って進められる地方分権改革の中で、本村のような小規模自治体の地方交付税は、今後も減少傾向が続くものと予想されます。

財政的に極めて厳しい状況の中ではありますが、合併せずに自立の道を選択した村民の願いに応えるため、地域の資源を活かした産業の振興や村の未来を担う人材の育成、村民一人ひとりが生きがいを持ち、安心して暮らしていける村づくりを実現していかなければなりません。

第3次鮫川村振興計画の基本理念である「まめな暮らしが育む環境を生かしたやすらぎとふれあいの村」の実現のため、すべての事務事業を見直し、費用対効果や必要性、緊急性を検証し、村民の声を反映し、真に必要なとされる施策を選別・重点化するなど、限られた財源をより効率的で効果的な活用を図るため、職員が知恵と工夫を結集し、創意工夫に満ちた予算を編成することを基本方針としました。

鮫川村長 大樂 勝弘